



災害に強いまつばらのまちづくりについて



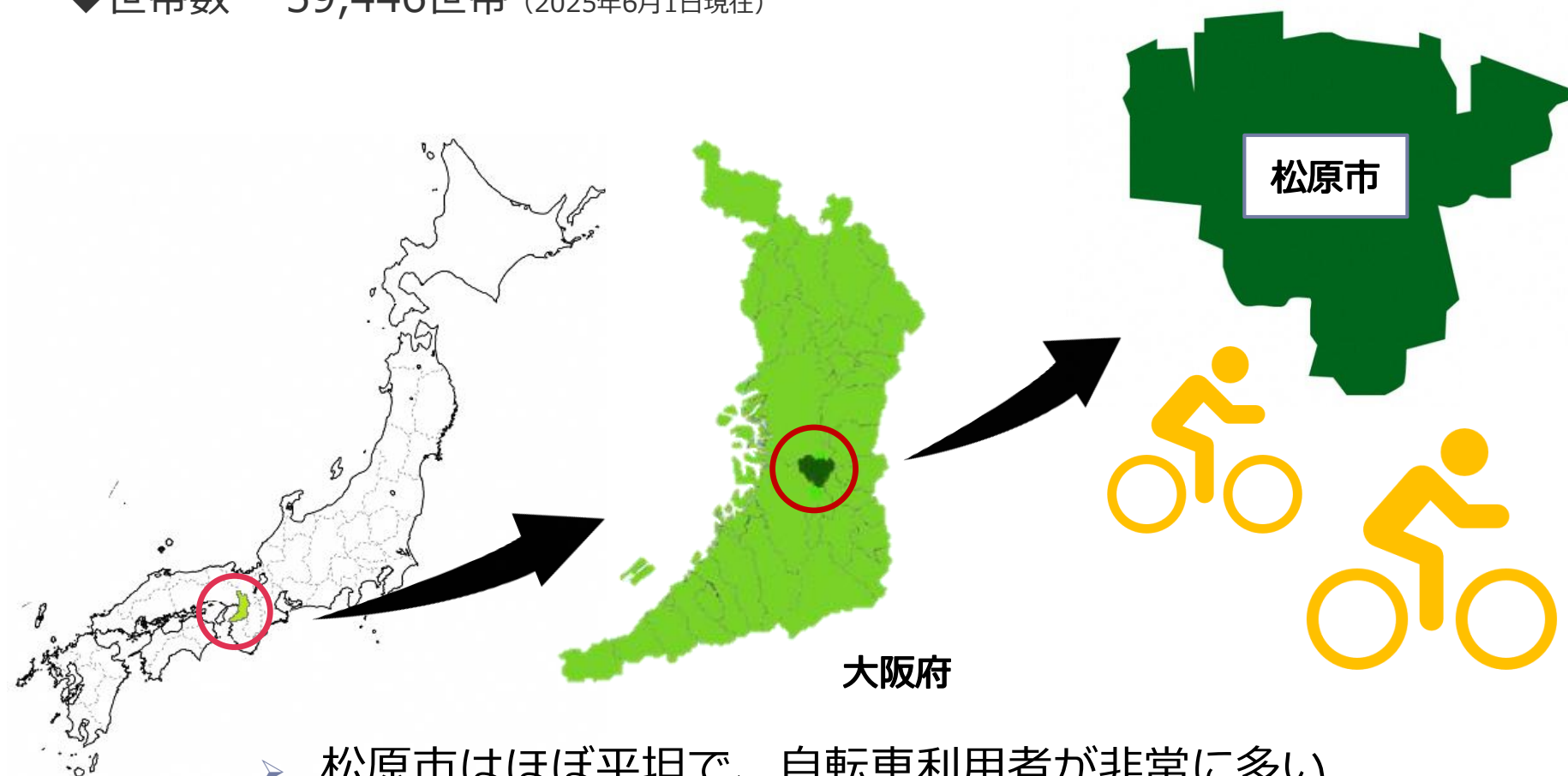
報告者

大阪府松原市

市民協働課 課長 北野 智海



- ◆面積 16.66km²
- ◆人口 116,013人 (2025年6月1日現在)
- ◆世帯数 59,446世帯 (2025年6月1日現在)



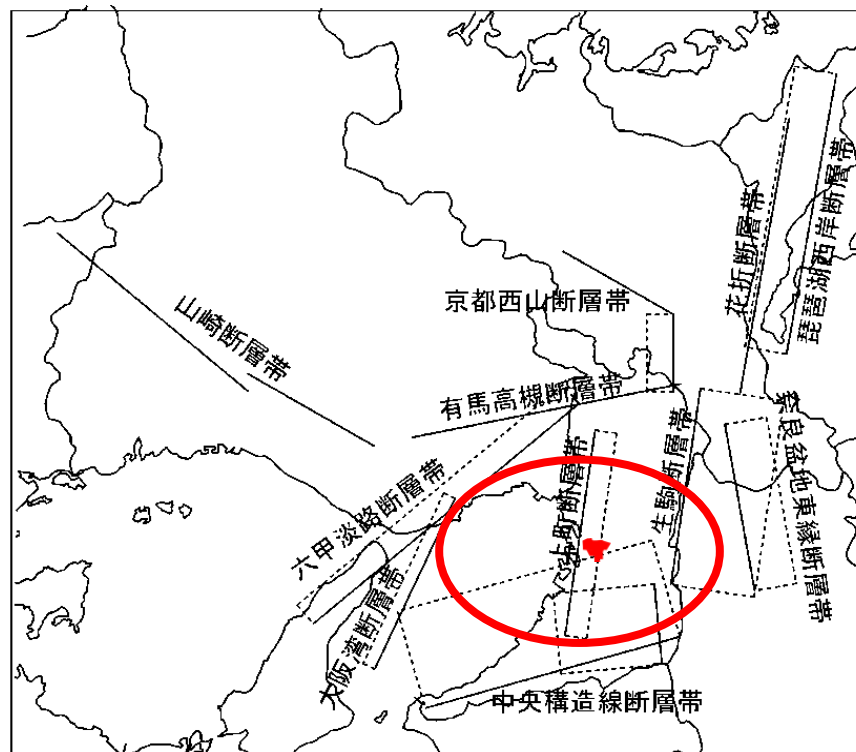


(プレートの境界線上に位置する国土)

(近畿圏内の活断層帯)

出典：気象庁

出典：大阪府



- 日本列島は、4つのプレートの境界線上に位置している
- 松原市も多くの活断層に囲まれている



(松原市内の河川状況)

出典：松原市



大和川 西除川
落堀川 東除川

- 松原市は、16.66km²とコンパクトで平坦なまち
- 第1級河川である大和川のほかに、落堀川、西除川、東除川と合計4つの河川が通っている
- 土砂災害の心配はないが、大雨等の影響による水害が予想される



1982年 大和川の氾濫



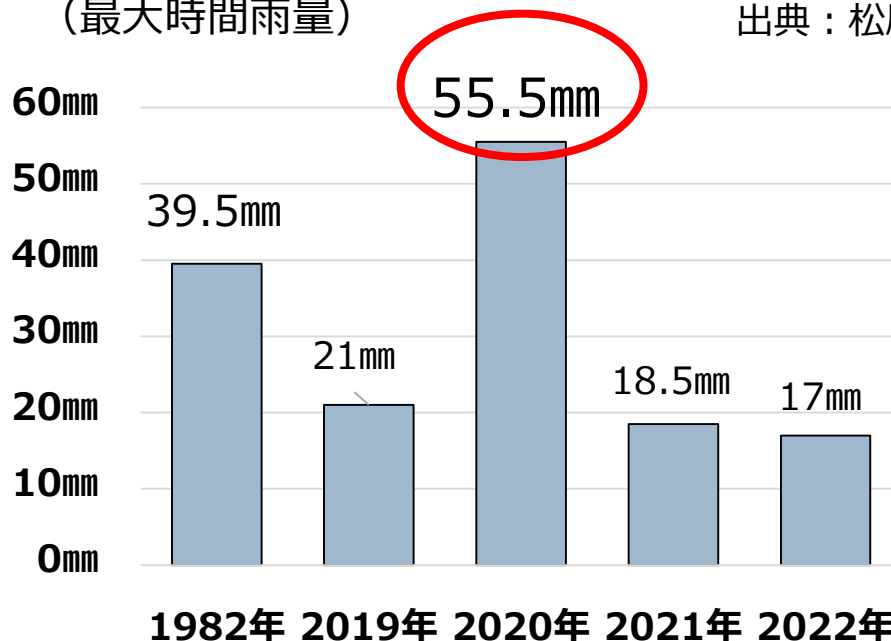
1982年の水害（57水害）では
最大時間雨量39.5mmを記録



2020年に1982年を超える降水量を記録

（最大時間雨量）

出典：松原市



雨に強いまちづくりとして雨水対策を
積極的に行っていたことにより、

2020年は洪水発生せず



☆総合防災ガイドマップを市内全戸に配布☆



浸水想定区域や避難所情報などのほか
準備と対策をお知らせしている



- ・ 非常持ち出し品を準備する。
- ・ 家具等の転倒防止対策をする。
- ・ 災害が起こった時の避難場所や避難経路を確認する。家族との連絡方法や集合場所を決めておく。
- ・ 自宅が浸水想定区域に入っていないか確認する。
- ・ 地域の防災訓練に参加する。等々

日頃から災害への備えの大切さを啓発！！



☆防災士資格取得の全額補助☆

- 対象者は、18歳から65歳までの市民や本市との災害時における協定の締結事業所に勤務する人等
- 令和6年度より、12歳から17歳までの松原市民（中学生）も新たに対象に



☆避難所運営ネットワークの構築☆

- 災害時に避難所となる小中学校（全22校）において、地域が主体となった避難所運営ができるように、松原防災士会と連携
- 令和5年度に、地域との協働による避難所運営ネットワーク構築が完了
- 参加団体は、町会や自主防災組織などの地域団体、地域教育協議会やPTA、松原防災士会等



地域や関係団体との協働により地域防災力が向上！！



老朽管更新・耐震化事業

令和4年度 基幹管路の耐震化率
(南河内地域)

	耐震化率(%)
松原市	100.0
大阪広域水道企業団 (藤井寺)	33.8
富田林市	68.3
河内長野市	73.3
大阪広域水道企業団 (太子)	69.8
大阪広域水道企業団 (河南)	40.3
大阪広域水道企業団 (千早赤阪)	7.2
大阪広域水道企業団 (大阪狭山)	62.6

大阪市	66.4
堺市	43.6
府総計	51.0

耐震化済 (基幹管路)	
主要事業 (R5～)	
浄・配水場	

「基幹管路」

導水管、送水管及び配水本管（給水分岐のないもの）といった水道管の基幹的なものであり、水道を支える重要な管路のこと



若林2丁目調整池築造事業



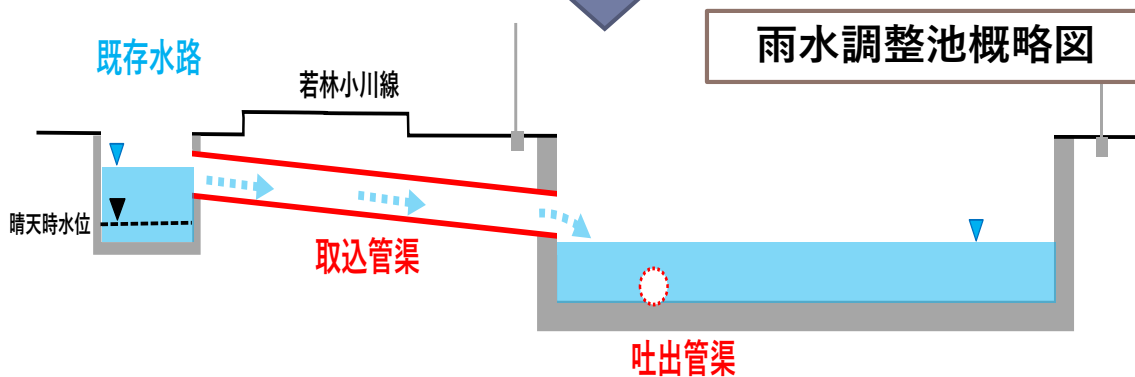
雨水調整池



雨水調整池



雨水取組口



雨水調整池概略図



(仮称) 中央防災備蓄センター建設工事

- 松原幼稚園跡地を活用し、新たな防災備蓄センターを建設
- 本市の2か所ある防災備蓄センターと合わせて、多くの備蓄を行うため
- 運用開始は、令和8年12月頃を予定
- 施設等概要 施設所在地：上田5丁目（松原中学校の東側）
延床面積： 約1,000㎡（2階建）

完成予想パース図





課題①

自然災害への不安感は大い
が、自己対策は不十分である。



課題②

家具転倒等による多数
の死傷者が想定される。



課題③

災害発生時、高齢者等要支援者
は 逃げ遅れることにより死傷する
可能性が高い



方向性① 地震災害における死傷の予防
方向性② 高齢者等要支援者の逃げ遅れによる死傷の予防
方向性③ 水害による死傷の予防

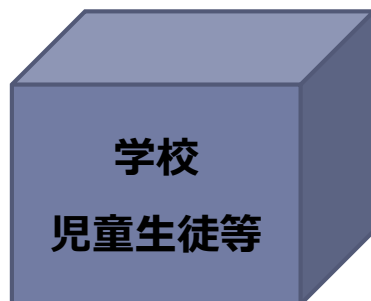
取り組み① 地域の防災訓練
取り組み② 地震対策の普及
取り組み③ 水害対策の普及

災害発生時の逃げ遅れ・死傷者ゼロを目指す

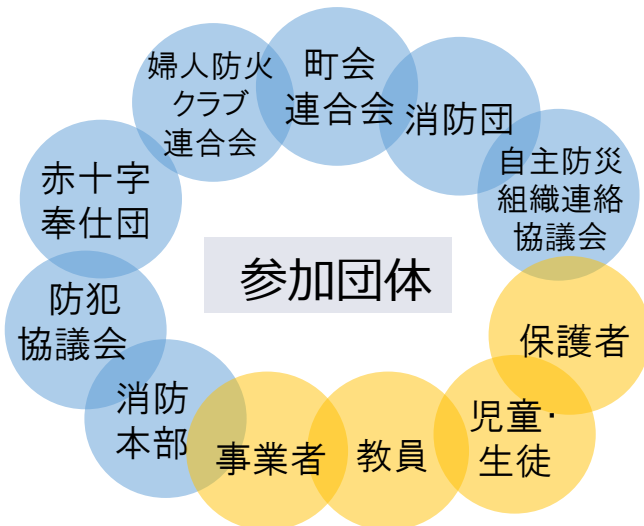


地域防災ネットワークプロジェクト協議会による訓練

訓練内容（一例）



☆ISSとの連携☆



水消火体験



煙中体験

そのほか、キャタピラー体験など

小学校の授業参観で実施することにより、子ども達の防災意識向上のほか・・・

- ・ **子育て世代が参加**
- ・ **地域の交流**

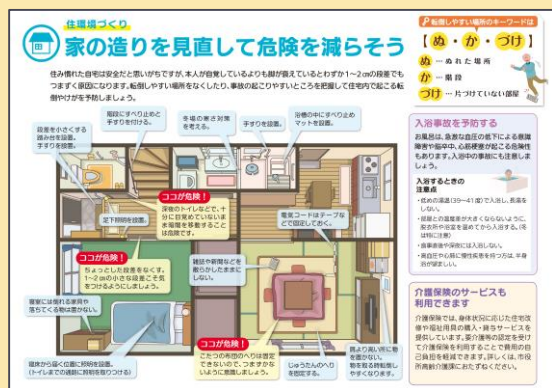
に繋がっている。



他の対策委員会との連携 高齢者の安全対策委員会

まつばらマルシェでの啓発

転倒予防パンフレット



寝室には倒れる家具や
落ちてくる物は置かない。

寝床から届く位置に照明を設置。
(トイレまでの通路に照明を取りつける)



パンフレットやイベント等で家具転倒予防対策等の啓発



地域のまつりで啓発



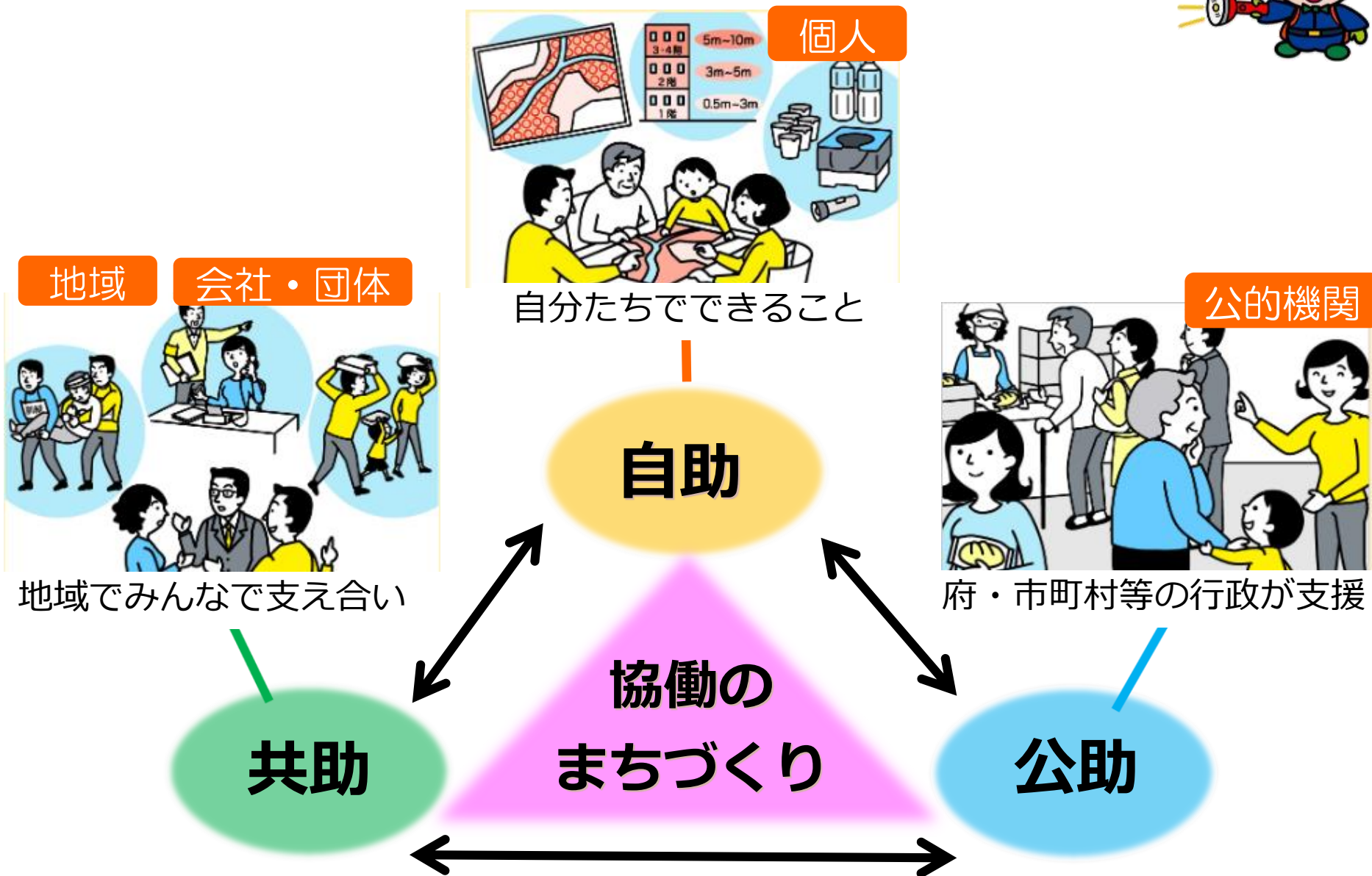
浸水エリア内の小学校で防災授業



アンケート調査の実施



イベントでの啓発、アンケート調査や出前にて防災授業を実施





松原市セーフコミュニティ

大阪初！

セーフコミュニティ

国際認証都市



国際安全都市 まつばら

～セーフコミュニティ 協働でつくる安心安全なまち～